

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学専門演習Ⅱ		必修	2	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
瀧口 綾 他	B305	atakiguchi	火曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的> 「福祉心理学専門演習Ⅰ」で学んだ心理学を中心に心の働きに関する基本的な理論や知識を学び、専門的知識を活かしてさらに自己理解を深めることを目的とする。加えて人間社会で起こっている現象や多様な関係性について理解するために必要な知識や技術を身につけることを目的とする。</p> <p><概要> 課題を実施し発表、全員で討議を行う。</p>				
学習上の助言	社会の中で自分らしく生きることができるよう、心理学の知識を活かし自分自身について理解を深めて欲しい。授業への積極的な参加を求める。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	特になし。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	心理学等に関する基本的な知識を深め、理解することができる。		HSU(1)(2)、WP(5)		
②	心理学の専門的知識を活かし、自己について理解することができる。		WP(4)		
③	心理学等の専門的知識を生かし、人間社会の現象を理解できる。		WP(5)		
④	多様な関係性について理解し、実際の場面で活かすことができる技術を身につける。		WP(3)		
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	「福祉心理学専門演習Ⅰ」の総括及び各自「福祉心理学専門演習Ⅱ」の学修目標について発表を行う。	講義・演習	発表の準備を行う。互いに質疑応答を行う。	2	
2	キャリア心理学(3) 自己分析方法及び自己表現について学ぶ①。	講義・演習	自己分析の方法及び自己表現について調べる。	3	
3	キャリア心理学(3) 自己分析方法及び自己表現について学ぶ②。	講義・演習	自己分析の方法及び自己表現について調べ、総合的に学ぶ。	3	
4	キャリア心理学(4) 自己分析の方法及び自己表現の重要性と社会情勢を踏まえた社会貢献の方法などの概要について学ぶ①。	講義・演習	自己分析の方法及び自己理解の重要性と社会貢献の概要について学んだことを整理し、発表できるように吟味する。	5	
5	キャリア心理学(4) 自己分析の方法及び自己表現の重要性と社会情勢を踏まえた社会貢献の方法などの概要について学ぶ②。	演習	発表し、討議を行う。発表、討議を踏まえ、内容について各自で整理する。	3	
6				3	
7	人間社会の理解(2) 業界及び業種や職種について学ぶ①。	講義・演習	関心のある業界及び業種や職種について総合的に学ぶ。	3	
8	人間社会の理解(2) 業界及び業種や職種について学ぶ②。	講義・演習	関心のある業界及び業種や職種について調べる。	3	
9	人間社会の理解(2) 業界及び業種や職種について学ぶ③。	講義・演習	関心のある業界及び業種や職種について発表できるように吟味する。	3	
10	人間社会の理解(2) 業界及び業種や職種について学ぶ④。	演習	発表、討議を行う。発表、討議を踏まえ、内容について各自で整理する。	5	
11	人間社会の理解(3) 自己分析の結果及び自己表現と業界及び業種や職種について学ぶ①。	講義・演習	自己分析の結果及び自己表現と業界及び業種や職種に関する学びを整理する。	3	
12	人間社会の理解(3) 自己分析の結果及び自己表現と業界及び業種や職種について学ぶ②。	講義・演習	自己分析の結果及び自己表現と業界及び業種や職種に関する学びを整理し、発表できるように吟味する。	3	
13	人間社会の理解(3) 自己分析の結果及び自己表現と業界及び業種や職種について学ぶ③。	演習	第 1~12 回までの学びを整理し、発表、討議を通して「福祉心理学専門演習Ⅲ」に向けて学習目標をたてる。	5	
14				5	

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

15	総括を行う。	講義・演習	これまでの授業内容を各自で整理する。	5			
試							
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	60	0	40	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	5	0	5	10
	思考・推論・創造する力	0	0	5	0	10	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	5	10
	発表・表現伝達する力	0	0	25	0	0	25
	コミュニケーション力	0	0	10	0	5	15
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	10	0	5	15
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	3種の発表会において、求められる課題テーマに応じて、現代社会の諸問題に関する心理学的知識を踏まえた上で、自ら発見・思考した内容をコミュニケーション豊かに表現する発表となっているか、その内容や技術などについて総合的に評価する。				発表後に講評及び解説、さらに以後の講義で成長に必要な取り組み課題を指摘する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	発表会の準備及び持続的な修正に対して真摯に取り組み、各ゼミ内における発表予行でも必要十分なグループ検討への参画を担える積極的な意欲・態度について、総合的に評価する。				毎回授業時に個々にコメントを加えた上で、次回までの改善点を指示する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備考							
<p>学生は必ずいずれかの教員のクラスに所属すること。 担当教員：◎瀧口 綾、鈴木 真吾、高田 毅</p> <p>大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めません。 なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあります。</p>							